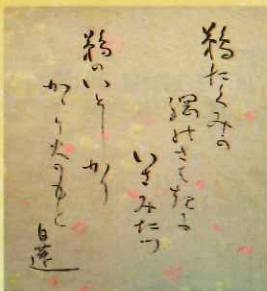




特別展示

長良川鵜飼に 魅せられた文学者

川端康成、柳原白蓮、北原白秋、岐阜ゆかりの作家



柳原白蓮作 (山下家蔵)

2017年
9月6日(水) - 10月23日(月)
長良川うかいミュージアム 特別展示室

開館時間 9月6日-10月15日 9:00-19:00(入館は18:30まで)
10月16日-10月23日 9:00-17:00(入館は16:30まで)

休館日 10月17日(火)

観覧料 大人500円(400円) 小人250円(200円) ※常設展示含む
()内は20名以上の団体料金

岐阜市が舞台の川端作品
初描き下ろしイラスト出展

1300年以上続く幽玄の世界“長良川鶺鴒”は、多くの人を魅了し続けてきました。かつて鶺鴒の美しさに心を奪われた絵師は、筆を取り絵画を描き、松尾芭蕉は有名な俳句「おもしろうて やがて悲しき 鶺鴒舟かな」を詠みました。

本展では、明治～昭和の時代に発表された文学作品から、“長良川鶺鴒”や“岐阜市”をテーマにした小説や短歌を、鶺鴒匠との交流など、作品の背景を交えご紹介します。文豪・川端康成を中心に、柳原白蓮、北原白秋、高浜虚子、里見弴、森田草平といった作家たちが魅了された、長良川鶺鴒の趣きを感じていただけましたら幸いです。

特別展示

長良川鶺鴒に魅せられた文学者

川端康成、柳原白蓮、北原白秋、岐阜ゆかりの作家



装画「川端康成初恋小説集」



あべちほ氏

「川端康成初恋小説集」(2016年／新潮社発行)の装画家・あべちほ氏による描き下ろしイラストを展示。岐阜市が舞台の川端康成作品「篝火」「南方の火」「非常」のイメージ画をご覧ください。

あべちほ(1983-)

東京生まれ。桑沢デザイン研究所を卒業し、書籍の装画や文芸誌を中心に活動。日本的な美感、儂さ、幽玄などをテーマに、美しくもどこか陰のある世界を描いています。

ミュージアムショップにて、今回展示したイラストのオリジナル絵葉書も販売いたします。

関連イベントのご案内

第5回 市民講座 「川端康成と岐阜」

講師：三木 秀生氏 (中部学院大学講師)

日時 9月23日(土・祝)
13:30-15:00[受付 13:00~]

会場 四阿(長良川うかいミュージアム)

申込期間：8月27日(日)～9月21日(木)
100名(先着順)／受講料：無料

川端康成の岐阜市を舞台に執筆した小説「篝火」「非常」「南方の火」「雨傘」を中心に読み解きます。また、小説のモデルとされた初恋の相手・伊藤初代さんとのエピソードも紹介します。



三木秀生氏

申込方法

往復はがき、FAX、Eメールのいずれかの方法で、住所・氏名・電話番号・参加人数(大人・小人は区別)を記入し「第5回市民講座」宛へ、お申し込みください。

直接来館してのお申し込みも可能です。

※展示室を観覧される場合は、別途観覧料が必要です。



駐車場 67台完備

展示室観覧、ショップ・レストラン利用で最大90分駐車料金無料

交通アクセス

- JR岐阜駅および名鉄岐阜駅よりバスで約15分、バス停「鶺鴒屋」より徒歩6分
- 東海北陸自動車道「岐阜各務原IC」より約20分、「関IC」より約20分

開館時間

- 5月1日～10月15日 — 9:00～19:00(入館締切18:30)
- 10月16日～4月30日 — 9:00～17:00(入館締切16:30)

休館日

- 年末年始(12月29日～1月3日)
- 5月1日～10月15日 — 休館日なし(一部指定日除く)
- 10月16日～4月30日 — 毎週火曜日(祝日の場合は翌平日)

指定管理者 JNFうかいミュージアム

〒502-0071 岐阜市長良51番地2 ☎058-210-1555

FAX: 058-233-6658

☑info@ukaimuseum.jp <http://ukaimuseum.jp>

